

2022年7月20日 第426号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
http://www.kyodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動実行委員会「19日行動」に600人

市民と野党の共闘こそが政治を動かす力

## 改憲を許さない草の根からの運動大きく

「改憲発議反対！軍拡やめろ！辺野古新基地建設中止！ロシアはウクライナから即時撤退せよ！くらしといのちを守れ！7・19国会議員会館前行動」が7月19日夜に開かれ、600人が参加。参議院選挙の結果を受け、改憲発議を阻止するため、市民と野党の共闘や草の根からの運動を大きく広げる決意を新たにしました。社民党の福島みずほ参議院議員、日本共産党の田村智子参議院議員、立憲民主党の吉田はるみ衆議院議員があいさつ。沖縄の風の伊波洋一参議院議員のメッセージが紹介されました。

憲法9条壊すな！実行委員会の菱山南帆子さんが主催者あいさつ。「安倍元首相が殺害されたが、亡くなったからといって進めてきた悪政がなくなるわけではなく、脈々と引き継がれている。なかったことにすることや国葬を行うなどともない」と厳しく批判。「参議院選挙は悔しい結果だったが、市民と野党の共闘が大きな役割を果たしていたことがわかった。本気の共闘で改憲できない世論をつくり出そう」と呼びかけました。



辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の福元勇事務局長が電話で発言し、辺野古新基地の設計変更をめぐる状況の説明。「日米地位協定で基地が固定化され、沖縄の未来へも押し付けられる。新基地建設NO！平和の島を次世代に。憲法守り、基本的人権が尊重される、戦争させない平和主義を守り、育てよう」と訴えました。

女性による女性のための相談会の柚木康子さんは、「7月1～2日に文京区の後援を受けて相談会を行った。『年金者で、電気代節約のため冷房を使わずがまんしている』、『食事を2回にしている』などの声が聞かれた。1番重い5キロの米からなくなった」などリアルな実態を報告しました。

日本山妙法寺の武田隆雄上人は、戦没者の遺骨が含まれる土砂を辺野古新基地建設に使わせないための緊急FAXへの協力要請と7月29日の公害等調整委員会当日に行われる院内集会への参加を呼びかけました(別添)。19日行動に連帯して韓国の日本大使館前で行動している韓日和解と平和プラットフォーム興土団からのメッセージが紹介されました。

憲法共同センターの高橋信一さん(憲法会議事務局長)が行動提起を行いました。